

地域空手道指導の実態に関する調査——比較集計編——

科学委員会

はじめに

一九九六年、東京都空手道連盟は、連盟に加盟する空手道指導者(地域スポーツ指導者)に対して、指導者の意識と地域空手道の実態を知るために、質問紙によるアンケート調査を行った。指導者の年齢構成、職業、空手道指導歴、所属会派、公認資格の取得状況、練習日数・時間、大会成績等、また指導上の重点項目である指導の目標、当面の実現目標等について「単純集計編」として報告した。今回は、この調査データと東京都高体連、全国高体連空手道部の調査資料をもとに、地域空手道指導者と都内高校部活動指導者(武道)と全国高校空手道部指導者を比較し、スポーツ領域という「生涯スポーツ」と「競技スポーツ」の差異を明らかにし、今後の地域スポーツ指導の振興に資することを目的とし、「比較集計編」として報告する。

調査の概要

(一)平成八年に東京都空手道連盟に加盟する空手道指導者のうち、高等学校・大学の(部活動)指導者を除いた百十七人の質問紙によるアンケート調査のデータと、東京都高等学校体育連盟が平成六年に行った部活動顧問実態調査のうちから武道指導者(柔道・剣道・空手道)のデータを比較検討し、地域スポーツ指導者(生涯スポーツ領域)群と高校部活動指導者(競技スポーツ領域)群の指導上の差異を明らかにする。また、公認資格取得状況等の項目については、全国高体連空手道部の平成九年度有資格者調査のデータを利用し、各群を比較検討を試みた。

結果と考察

*考察にあたり表記方法を、次のように略記する

○東京都地域空手道指導者(地域指導者)
○東京都高校部活動武道指導者(柔道・剣道)

表1. 指導者数と性別

東京都地域空手道指導者	東京都高校武道指導者(柔道・剣道・空手道)	全国高校空手道指導者
男性 116 (99.1%)	男性 468 (95.1%)	男性 578 (97.1%)
女性 1 (0.9%)	女性 24 (4.9%)	女性 17 (2.9%)
合計 117	合計 492	合計 595

表2. 指導者の年齢構成

項目	地域空手道指導者		高校武道指導者	
	n	%	n	%
a. 25歳以下	1	0.9	9	1.8
b. 26~30歳	3	2.6	53	10.8
c. 31~35歳	2	1.7	115	23.4
d. 36~40歳	5	4.3	101	20.5
e. 41~45歳	14	12.0	103	20.9
f. 46~50歳	27	23.1	55	11.2
g. 51~55歳	28	23.8	30	6.1
h. 56~60歳	22	18.8	22	4.5
i. 61歳以上	15	12.8	4	0.8
計	117	100.0	492	100.0

表3. あなた自身の空手道歴は何年ですか

項目	地域空手道指導者		高校武道指導者	
	n	%	n	%
a. なし	0	0	72	14.6
b. 5年以下	1	0.9	55	11.2
c. 6~10年	1	0.9	46	9.3
d. 11~15年	2	1.7	58	11.8
e. 16~20年	4	3.4	94	19.1
f. 21~25年	22	18.8	72	14.6
g. 26~30年	28	23.9	46	9.3
h. 31年以上	59	50.4	49	10.0
計	117	100.0	492	100.0

表4. 取得の全空連公認段位

項目	地域空手道指導者		高校空手道指導者	
	n	%	n	%
a. 初段	9	7.7	53	8.9
b. 二段	4	3.4	69	11.6
c. 三段	17	14.5	185	31.1
d. 四段	8	6.8	55	9.2
e. 五段	14	12.0	66	11.1
f. 六段	19	16.2	31	5.2
g. 七段	20	17.1	13	2.2
h. 八段	2	1.2	0	0.0
i. 九段	0	0.0	0	0.0
j. ない	24	20.5	123	20.7
計	117	100.0	595	100.0

表6. 取得の全空連公認審判員資格について

項目	地域空手道指導者		高校空手道指導者	
	n	%	n	%
a. 国際審判員	2	1.7	1	0.2
b. 全国審判員	26	22.1	73	12.3
c. 地区審判員	20	17.1	158	26.5
d. なし	69	59.0	363	61.0
計	117	100.0	595	100.0

道・空手道) 高校武道指導者
○全国高校空手道指導者 高校空手道指導者
表1 各群指導者の属性
表2 指導者の年齢構成を見ると、地域指導者では四十六歳から五十五歳迄(f, g, 四六・九%)に最も多く集中しており、高校武道指導者の三十三歳から四十歳迄の七六・〇%に比べてすくない。逆に地域指導者は、四十歳後半から六十歳迄(f, g, h)を含めると六五・七%)に最も多く集中している。高校指導者には、勤務年数に制限があるので当然のことであるが東京都の地域指導者はかなり高齢であることがわかった。

表3 指導者自身の空手道歴については、高校武道指導者は各年代に亘って平均しているのに対して、地域指導者は、三十一年以上のベテランが五〇・四%となり、過半数を占めた。また、二十六年~三十年(f)を合わせると七四・三%となり、地域指導者は、修業年数の長い長期練習者が多いことがわかった。このことは表2でみた指導者の年齢構成とも符合する。表4の公認段位取得状況については、平成九年度全国高体連空手道部有資格者調査資料から、高校空手道指導者の公認段位取得状況と比較した。五段、六段、七段が指導者全体の四五・三%を占め、地域指導者群の質の高さを示している。しかも、公認段位取得者の中に七段位の占める割合は一七・一%と最も多く、地域指導者(東京都)が公認段位取得に意欲的に取り組んでいる様子がうかがえる。しかし公認段位を取得していない指導者も多く、両群ともに二〇%台を占めた。

表5は、指導者自身が所属する会派の段位取得状況である。地域指導者で七段が最も多く、高校空手道指導者は、三段位が最も多い。これは、さきに表2でみた年齢構成とも符合する。当然のことではあるが地域指導者群において「なし」は少ない。高校空手道指導者群は表4の公認段位取得状況でみた、段位「なし」とほぼ同じ値(二・三・九%)を値を示した。このことは高校の部活動顧問、競技種目の経験の有無に関わらず部顧問に任命されるという高校の現状を反映したものと考えられる。

表6の全空連公認審判員資格については、両群とも審判員資格の取得率は低い結果となった。*地域空手道指導者
表7は全空連公認指導員資格取得状況を示している。全国、地区指導員取得者を合せても、地域空手道指導者四七・七%、高校空手道指導者に至っては二七・六%(なし七二・四%)と両群とも取得者が少ない事がわかる。公認指導員資格を取得する事は、その機会に、多岐に亘って学ぶことができるので、空手指導者の資質向上の為に重要と考えられる。そういう意味からも、もっと多くの指導者が資格取得にトライすべきであろう。

表8、地域空手道指導者の指導している流派については、松涛館系が最も多く、ついで糸東系、剛柔系、王道系の順になった。高校空手道指導者でも松涛館系が最も多いが、和道系が二四・三

六十九名の中には東京A級、B級、区郡市都公認審判員三十一名が含まれる。同じく高校空手道指導者の三百六十三名の中には高体連公認審判員百五十名が含まれている。

表7は全空連公認指導員資格取得状況を示している。全国、地区指導員取得者を合せても、地域空手道指導者四七・七%、高校空手道指導者に至っては二七・六%(なし七二・四%)と両群とも取得者が少ない事がわかる。公認指導員資格を取得する事は、その機会に、多岐に亘って学ぶことができるので、空手指導者の資質向上の為に重要と考えられる。そういう意味からも、もっと多くの指導者が資格取得にトライすべきであろう。

表7. 取得の全空連公認指導員資格について

Table with 4 columns: Item, Regional Coach (n, %), High School Coach (n, %). Rows include National, Regional, Tokyo, and Unspecified.

表8. あなたの指導している流派は何ですか

Table with 4 columns: Item, Regional Coach (n, %), High School Coach (n, %). Rows include Karate, Judo, Jujitsu, and Others.

表9. 指導年数

Table with 4 columns: Item, Regional Coach (n, %), High School Coach (n, %). Rows show years of experience from 5 years or less to 31 years or more.

表10. 一週間の練習日数

Table with 4 columns: Item, Regional Coach (n, %), High School Coach (n, %). Rows show number of practice days per week from 1 to 7.

表11. 一日の練習時間 (平均)

Table with 4 columns: Item, Regional Coach (n, %), High School Coach (n, %). Rows show average practice time per day from 1 hour to 5+ hours.

表12. 指導目標について

Table with 4 columns: Item, Regional Coach (n, %), High School Coach (n, %). Rows list various coaching goals like performance improvement and physical strengthening.

表13. 指導上の悩みについて

Table with 4 columns: Item, Regional Coach (n, %), High School Coach (n, %). Rows list coaching difficulties such as lack of time and student motivation.

表9は、指導者の指導年数を示している。地域空手道指導者では十一年〜十五年が二四・八%と最も多いが、各項目一・二〜一・六%と平均している、このことは表2でみた年齢構成とも符合している。これに比べて高校武道具指導者では指導年数十五年までが七三・八%を占め、指導年数の浅い層に集中している。地域指導者の年齢構成は各項目に平均しており理想的な分布状態と言えないではないか。

表10は、指導者の指導日数を示している項目に歯止めをかけることを企図して、部活動に週一回必ず休養日を設けるよう通達した。表12は、指導者の指導目標についての内容を示している。(地域指導者は3つ以内で回答、高校武道具指導者は第1位に選択したものを集計)この結果、地域指導者では「礼儀正しさを学ばせる」が二四・四%と最も多かった。ここでは順位選択を求めなかったがこの項目を最初にあげた指導者が多かった。次に「健康・体力づくり」一八・二%。「空手道技術の向上」一七・〇%の順となった。第一に「礼儀正しさを学ばせる」をあげ、次に「体力の強化」ではなく「健康・体力づくり」を選択し、生涯スポーツ志向の強いことが明白になった。高校武道具指導者では「大会成績の向上」を第1位にあげており、勝利志向の強いことがわかる。

表13は、指導者の指導上の悩みについて(2つまで)示してある。地域指導者では第1に「練習生の減少」二八・六%をあげ、次に「練習生(小・中・高校生)の進学問題」、「仕事や連盟の役職が多忙で指導時間がとれない」の順になった。高校武道具指導者については、質問内容が若干異なるので比較しにくい「指導上の悩み」について第1に「部員数の減少」をあげ、共通した悩みを抱えていることがわかった。

東京都空手道連盟に加盟する空手道指導者(地域スポーツ指導者)を対象に行った地域空手道の実態調査データと都内高校部活動指導者と全国高校空手道部指導者を比較分析を行った結果、次のような知見を得たので報告する。(1)指導者の年齢構成は四十歳後半から五十五歳迄に集中しており、地域指導者は高校武道具指導者にくらべ高齢であることがわかった。空手道歴三十一年以上のベテランが過半数を占めた。地域指導者は、修業年数の長い長期経験者が多いことがわかった。(2)公認段位取得状況をみると、高校空手道指導者は地域指導者に比べて年齢が若いということもあり、三段位が最も多く、七段位の割合は少ない。逆に都の指導者では、七段位の割合が最も多く、優秀な空手道指導者が多いと見える。指導者の指導している流派については、地域指導者と高校空手道指導者で大きな違いがあった。両系とも松涛館系が最も多いが、地域指導者では糸東系、剛柔系、和道系の順となり、高校空手道指導者では和道系が第2位になり糸東系、剛柔系の順となり、非常に興味ある結果になった。(3)地域指導者の指導目標は「礼儀正しさを学ばせる」、「健康・体力づくり」、「空手道技術の向上」の順となり、生涯スポーツ志向の強いことが明白となった。高校武道具指導者では「大会成績の向上」を第1位にあげており、勝利志向の強いことがわかる。このことは領域の異なる両群のスポーツ志向性が鮮明に反映していることがわかった。指導上の悩みについては両群の指導者が「練習生の減少」を第1位にあげ、少子化という社会現象が地域スポーツ・学校スポーツに大きな影響を与えていることを示すものである。このことは、今後の空手道振興のためには、都空連組織と高体連組織あるいは大学連盟組織が一層の連携と創意工夫が必要であることを示唆するものとして注目したい。

区郡市幹事長およびアンケートに回答していただきました指導者の方々のご協力に心からお礼申し上げます。また、都空連ニュースに掲載致しましたので、ご協力いただきました各先生方への結果の発送は割愛させていただきます。ご了承下さい。比較集計編の考察にあたっては、道原伸司先生の貴重なご助言をいただきました。記してお礼申し上げます。

お礼 (社)東京都空手道連盟 科学委員会 委員長 日下 修次 委員 奥野 武志 委員 橋本真由美 研究協力者 倉田 順子 (東京都立大学) 石井 政弘 (東京情報大学)

要約

手道専門部有資格者一覧表 一九九七・八・五 全国高体連空手道部指導部委員会編